

地域学校協働活動だより

令和3年11月16日発行 福島県教育庁県北教育事務所

地域の方々にあたたかく支えられて…！

～大山幼稚園の取り組み～

訪問日：令和3年10月14日（木）8：30～10：30

場 所：大玉村立大山幼稚園～おおやま元気っ子農園

内 容：豊かな体験活動「さつまいもほり」



活動における幼稚園とボランティアの共通理解

- 1 園児とボランティアのコミュニケーションを大切にする。
- 2 園児が自分の力でさつまいもを収穫できた体験を重視する。

大玉村地域学校協働本部では、学校支援コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が定期的に幼稚園、小学校、中学校を訪問し、学校のニーズに合わせたボランティアを紹介しています。今回は、5名のボランティアの方々においていただき、「さつまいもほり」が行われました。

ボランティアの方々は、早めに畑に集合し、掘りやすいようによけいな蔓などをあらかじめ処理し、安全にさつまいもほりができるように準備をして園児の到着を待っていました。

園児は畝の中にさつまいもを見つけると、歓声を上げながら一生懸命掘っていきます。ボランティアの皆さんはできるだけ園児の力で収穫できるように見守り、どうしても畝が固いときだけ周りの土を柔らかくしてあげるなど場面に応じた支援を行っていました。



大玉村地域学校協働本部

ボランティア派遣の仕組み

幼稚園

担当教職員

地域学校協働活動

【要請書】

①

【決定書】

④

地域学校協働本部

地域コーディネーター

②

②

ボランティア

- ①【幼稚園】学校支援ボランティア要請書を地域コーディネーターに提出
- ②【地域コーディネーター】ボランティアとの連絡・調整
- ③【地域コーディネーター】ボランティア決定通知書を幼稚園に送付
- ④【ボランティア】地域学校協働活動への参加

この取組からの学び

大玉村地域学校協働本部では、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が定期的に幼稚園や小中学校に足を運んでニーズを把握し、ボランティアの紹介や連絡調整を行っています。これにより上記の①～④が円滑に進み、子どもたちの学びが豊かになったり、地域コミュニティが活性化したりするなど、双方にとってよい効果が得られることがわかります。